

2026 年度事業方針
公益社団法人 さぬき青年会議所
第 29 代理事長 松浦 敬征

「スローガン」

“ つなぐ ”

「基本理念」

想いを紡ぐ、未来を拓く

「基本方針」

1. 持続可能な組織づくり
2. ブランディングと情報発信
3. まちづくりと青少年育成
4. 香川ブロックへの出向と 30 周年への準備

「所信」

はじめに

私たち青年会議所は「修練」「奉仕」「友情」の三信条のもとに、これまでも「明るい豊かな社会の実現」のために、多くの人々や地域とのつながりを大切にし、運動を展開してきました。近年、社会は目まぐるしく変化し、地方においても人口減少や少子高齢化、災害や気候変動への備え、そして人と人とのつながりの希薄化など、これまでにない課題が押し寄せています。これらの課題は決して一人の力で解決することはできません。社会が大きく変化を遂げる今こそ、青年として先頭に立ち、行動を起こす責任があると考えます。

(公社) さぬき青年会議所は、2 市 4 町を中心に活動をしています。昨年度は、21 名の新入会員が入会し、ともに活動していく多くの仲間を迎えることができました。一本の矢では簡単に折れてしまいますが、三本を束ねれば容易には折れません。私たちも個々の力を集結し、メンバー一人ひとりのつながりを大切に活動していきます。

◆持続可能な組織づくり

ここ数年会員数の減少が課題でしたが、昨年は多くの新入会員が入会し、37名のメンバーでスタートすることができます。今後も（公社）さぬき青年会議所の活動を精力的に展開していくためには、持続的な会員拡大をしていかななくてはなりません。昨年の流れを継続していくためにも、拡大担当委員会だけに頼るのではなく、組織全体で会員拡大を積極的に取り組んでまいります。

一方で、アカデミー会員が半数を占める現状では、近い将来において役職の担い手不足に陥る可能性があります。（公社）さぬき青年会議所の考え方や想いを次世代につないでいくためにも、メンバー一人ひとりの成長を促すような研修も実施していきます。

◆ブランディングと情報発信

（公社）さぬき青年会議所の認知度は決して高くありません。我々の活動や存在意義を多くの市民に認知してもらうためには、効果的かつタイムリーな情報発信が必要です。今やインターネットや SNS など簡単に情報が入手できる時代です。特にこれからの地域を担う若い世代へ向けて、SNS やホームページの特性を活かした情報発信をすることで、共感を生むブランディングを進めてまいります。

また、地域の魅力や強みを外部に発信することは、住み暮らす人々の誇りや地元への愛着を育むことにつながり、地域の価値を高めるうえでの重要な役割を果たします。「青年会議所だからできる」ことがあると自覚し、青年会議所の価値を再認識していただくための情報発信をしていきます。

◆まちづくりと青少年育成

「丸亀お城まつり」「丸亀お城村」は、市民の手で守られ、育まれてきたお祭りであり、世代を超えて地域をつなぐ大切な行事です。昨年は第50回の節目を迎えることができました。この伝統あるお祭りを未来へつなげていくことは青年会議所の重要な使命です。お祭りへの積極的な参加を通じて、地域の人々の思い出に残るまちづくりを行い、更なる郷土の魅力を提供していきます。

次代を担う青少年の育成にも取り組みます。地域の未来を築くのは、今を生きる子どもたちです。しかし近年、地域コミュニティの衰退化や体験機会の不足、自己肯定感の低下など、子どもたちが抱える課題は小さくありません。その中でも物価高騰の影響もあり、子どもたちの体験格差はますます広がりを見せています。子どもたちの将来の選択肢を狭めてしまわないように、学校教育だけでは得られない体験を通じて、自己成長できる機会を提供していきます。

◆香川ブロックへの出向と 30 周年への準備

2026 年度（公社）さぬき青年会議所は、公益社団法人日本青年会議所四国地区香川ブロック協議会会長及び運営スタッフを輩出します。（公社）さぬき青年会議所の活動だけでは得難い多くの出会いと経験があります。またどうしても遠くに感じてしまいがちなブロック事業へも出向者の支援として積極的に参加します。出向していない会員にも新たな出会いや経験が生まれ、成長を促すことができます。個人の成長が組織の成長につながると信じ、出向者への支援を行ってまいります。

（公社）さぬき青年会議所は、2027 年度に創立 30 周年を迎えようとしています。単年度制である青年会議所が今日まで継続して成長してこられたのは、会員全体が同じ目的意識を持ち、毎年さまざまな工夫を凝らしてきた結果です。これを次世代につなげるためにも、（公社）さぬき青年会議所 30 周年に向けてメンバーの士気を高め一丸となり、来るべき 30 周年を迎える準備をしていきます。

◆結びに

（公社）さぬき青年会議所は、本年度創立 29 周年を迎えます。30 周年という節目を目前に控え、我々の活動は新たな局面を迎えていると感じます。価値観の多様化に伴い、今まで通りの青年会議所の活動をしていては運営が難しくなっています。これまで青年会議所に携わってこられた先輩方が築いた伝統を継承しつつ、時代に則した新しい価値観で活動をし、30 周年にバトンをつなぎます。

我々の活動の一つひとつの積み重ねが、地域の未来をより確かなものにする信じています。私自身、青年会議所活動の歴は浅いからこそアカデミーメンバーの気持ちに寄り添い、理事長として全身全霊でその責務を果たし、仲間とともに挑戦し続けることで、未来を切り拓いていく覚悟です。

人と人、人と地域をつなぐ。そして想いを紡ぐ。さぬきの地が発展する未来を拓いていきましょう。